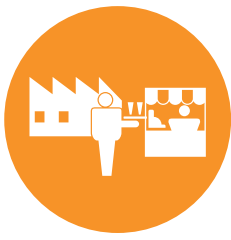


奈良県経済の好循環を促進し、働きやすく、良く学べる地域社会をつくりまします。



企業誘致・販路拡大・起業促進・商品開発支援・漢方生産拡大の推進

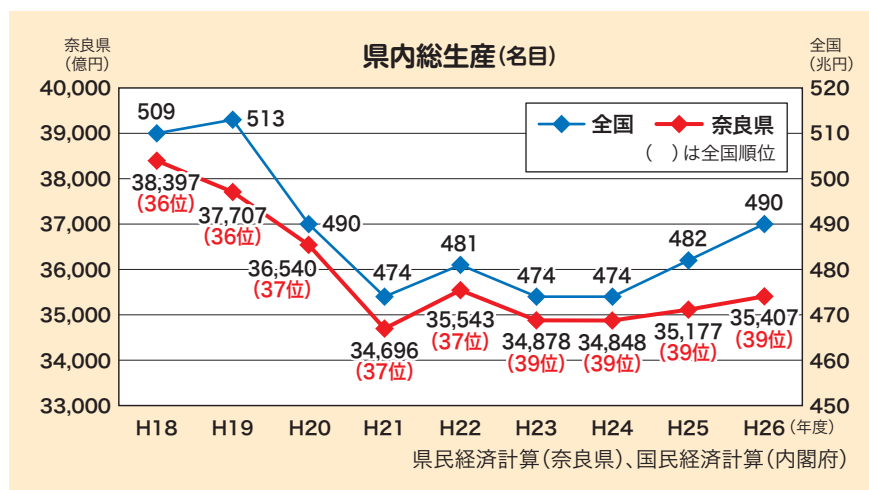
主担当部局：産業・雇用振興部



企業立地の魅力が高まる京奈和自動車道、西名阪自動車道周辺

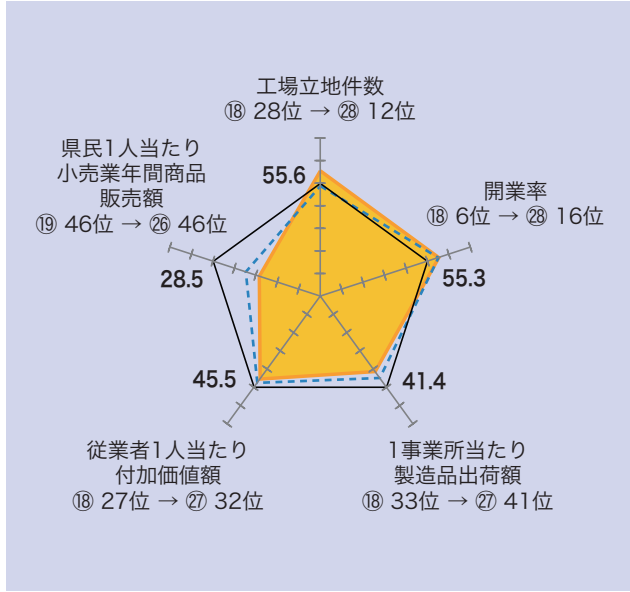
目指す姿

平成32(2020)年までに、**県内総生産(名目)**を**3兆7,000億円**にアップします。

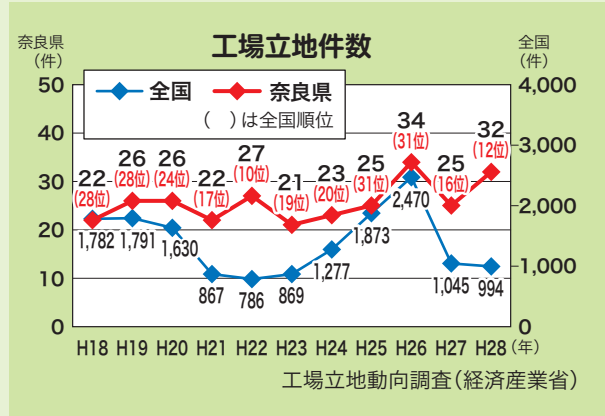


目指す姿を達成するための取組状況

● 現状

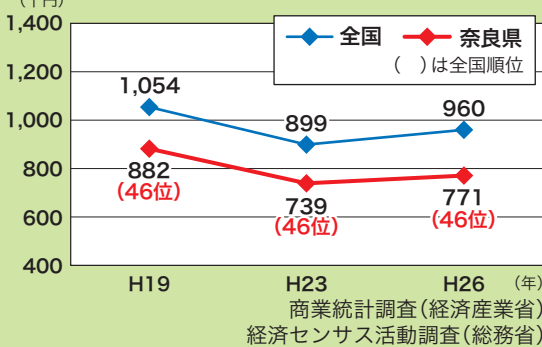


● トレンド



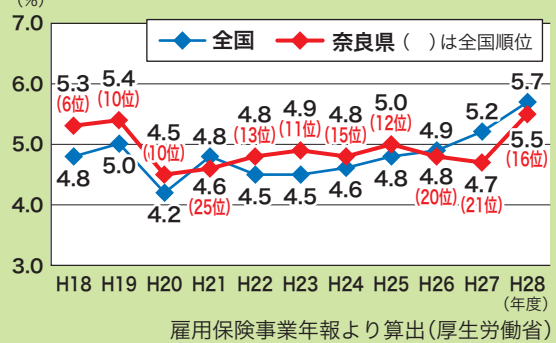
企業誘致・新たな産業用地の確保に向けた取組により、平成28年の工場立地件数の全国順位は12位となっています。

県民1人当たり小売業年間商品販売額



県民1人当たり小売業年間商品販売額は、平成23年に比べて約3万円増加しましたが、全国平均よりも低くなっています。

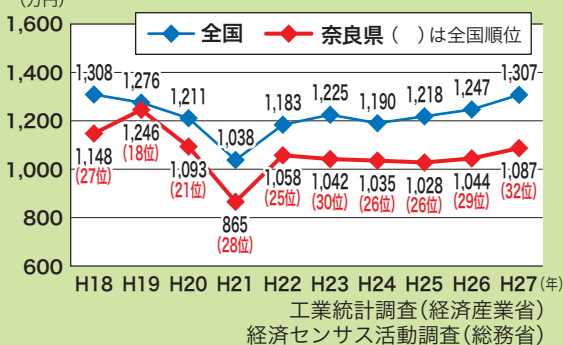
開業率(注)



(注)開業率・・・新たに設立された事業所の割合(対前年度末比)

新たに設立された事業所の割合は、平成18年度以降最も高い5.5%となり、全国平均に近い水準です。

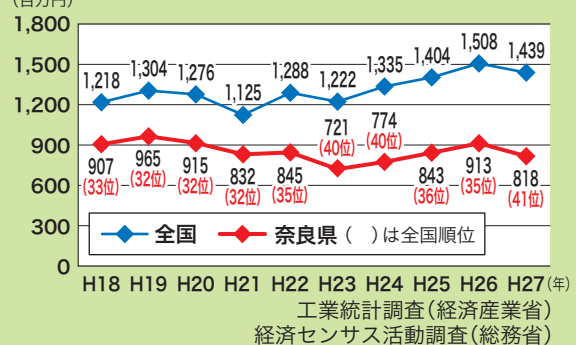
従業員1人当たり付加価値額(注)



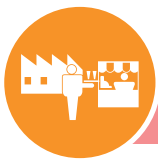
(注)付加価値額・・・生産活動によって新たに生み出された価値(製造品出荷額等-原材料費等)

従業員1人当たり付加価値額は、平成21年に減少した後、増加したものの、全国水準まで回復していない状況です。

1事業所当たり製造品出荷額



1事業所当たり製造品出荷額は、平成19年を境に減少しており、伸び悩んでいます。



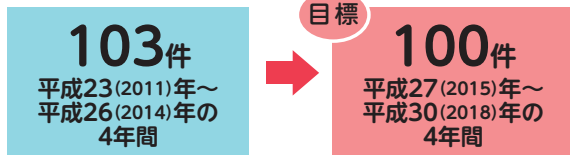
戦略 1

企業誘致・新たな産業用地の確保に向けた取組を進めます。

主担当課：産業・雇用振興部 企業立地推進課

戦略目標

工場立地件数



企業誘致により創出した雇用者数



主な取組

項目	平成30年度 (2018)	平成31年度 (2019)	平成32年度 (2020)
新たな産業用地の確保に向けたプロジェクトの推進	京奈和自動車道及び西名阪自動車道周辺における産業集積地の創出		
本社機能、研究拠点、情報通信業、多様な宿泊施設、集客施設等の誘致の推進	企業ニーズや業界動向、地域特性を捉えた効果的な誘致活動の展開、優遇制度の活用促進		
企業立地促進補助金等優遇制度の充実	補助金制度等の活用・充実による企業誘致の強化		
成長分野に重点を置いた戦略的企業誘致活動の推進	トップセミナーの実施、展示会、企業訪問等によるPR		



五條北インターチェンジ付近(五條市)



企業立地セミナー(東京都)

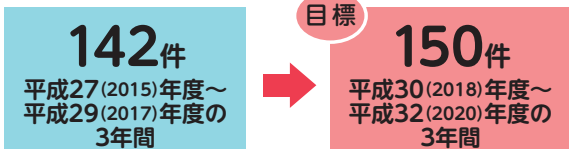
戦略 2

販路拡大、起業促進、商品開発支援、漢方生産拡大を推進し、**産業振興**を図ります。

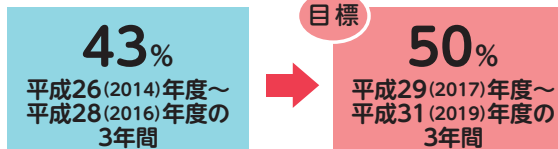
担当当課：産業・雇用振興部 産業政策課

戦略目標

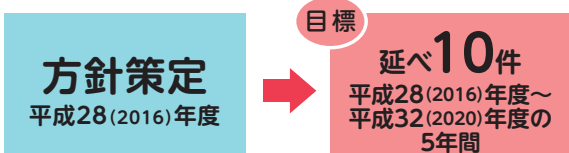
企業の販路拡大・商品開発支援件数



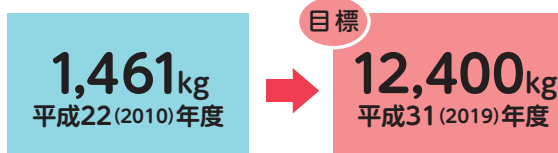
起業家の輩出率 (ビジネスプランコンテストからの実創業率)



県産業振興総合センター中期研究開発方針の重点研究に基づく企業との共同研究件数



大和トウキの生産量



主な取組

項目	平成30年度 (2018)	平成31年度 (2019)	平成32年度 (2020)
首都圏・海外等への販路開拓支援	首都圏・海外等への見本市出展、ジェトロ奈良県事務所と連携した海外展開支援等		
意欲ある起業家の掘り起こしと事業承継支援	ビジネスプランコンテスト・マーケティング講座の実施、創業支援ネットワークによる支援、事業承継ネットワークの構築・展開		
商品のブランド力向上、高付加価値獲得	ブランド力向上に向けた商品の開発、付加価値の高い商品・サービスの開発支援		
企業への研究開発支援	中期研究開発方針に基づく重点研究の実施		
漢方のメッカ推進プロジェクト	生産から販売までの一貫体制の構築		



奈良ブランドの発信「TEIBAN展」(東京都)



葉の活用も注目されつつある大和トウキ